



こおりやま



市議会だより

第202号 - 令和4年9月定例会 -

安積疏水通水140周年
(麓山公園・麓山の飛瀑)

【2頁 特集】

令和3年度事業を評価！

【16頁 郡山市産米の消費拡大に向けた特別委員会】

郡山市産米の消費拡大について

参考人から意見を伺いました！

主な掲載内容

特集	2頁
9月定例会の概要	4頁
市政一般質問	6頁
決算特別委員会	14頁
郡山市産米の消費拡大に向けた特別委員会	16頁
議会報告会参加者募集	18頁

【建設水道】

通学路安全対策事業

緊急点検箇所を選定方法や歩道の設置状況などの質疑を交わし、工事及び委託業務、合計30件が年度内に完了したことを確認し、事業計画に基づき適正に実施されたものと評価しました。



内出杉内線 道路改良工事
(西田学園)

【文教福祉】

統合型校務支援システム

教員への支援体制、長時間勤務の改善状況やシステムの改善などの質疑を交わし、小・中・義務教育学校へ統合型校務支援システムの導入が年度内に完了したことを確認し、事業計画に基づき適正に実施されたものと評価しました。

【総務財政】

旧豊田貯水池利活用事業

意見交換会や各種会議の実施状況などの質疑を交わし、新型コロナウイルス感染症の影響により、市民意見交換会及び歴史調査等、一部繰越した事業があったものの、動植物生態調査等、年度内の事業が完了したことを確認し、事業計画に基づき適正に実施されたものと評価しました。

【環境経済】

多面的機能支払交付金事業

(農地保全等による治水対策)

田んぼダムの運用状況や所有者に対する補償などについて質疑を交わし、落水柵105基の設置等、年度内の事業が完了したことを確認し、事業計画に基づき適正に実施されたものと評価しました。



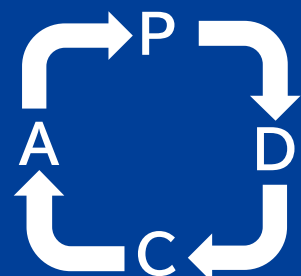
田んぼダム29.8ha (逢瀬町河内地内)

特集

議会PDCAサイクル

令和3年度対象事業の
評価をまとめました

各常任委員会において、対象事業に関する進捗報告の聴取と評価を実施するPDCAサイクルに取り組んでおります。今定例会で対象事業の評価を取りまとめましたので報告します。



【総務財政】

(仮称) 郡山市歴史情報・公文書館施設整備事業

駐車場の有料化及び駐車料金の設定などの質疑を交わし、周辺道路の整備等、一部繰越した事業があったものの、建物本体に係る実施設計、及び内部の展示設計等、年度内の事業が完了したことを確認し、事業計画に基づき適正に実施されたものと評価しました。



建物イメージパース

—PDCAとは?—

計画→実行→評価→改善の4段階を繰り返し、業務を改善する手法です。

【環境経済】

農業用施設整備事業

(ため池等の整備)

ため池の貯留量や水位計・監視カメラにより収集した情報の取扱いなどの質疑を交わし、水位計14か所、監視カメラ8か所の設置等、年度内の事業が完了したことを確認し、事業計画に基づき適正に実施されたものと評価しました。

【文教福祉】

保育所ICT化推進事業

保育士の業務改善策や、スマートフォン等を持っていない保護者への対応などの質疑を交わし、保育業務支援システムの全公立保育所への導入など年度内の事業が完了したことを確認し、事業計画に基づき適正に実施されたものと評価しました。



通園時にQRコード付カードをかざす保護者

—ICTとは?—

人とインターネット、人と人を結ぶ情報通信技術のことです。



令和4年9月定例会の概要

原油価格・物価高騰等緊急対策に要する経費を含む
一般会計補正予算など議案30件、議案2件を可決、
令和3年度決算等議案33件を認定

9月定例会を、9月6日から10月4日までの29日間に行われ開催しました。

初日は、会期の決定、諸般の報告、郡山市産米の消費拡大に向けた特別委員会からの中間報告を受けた後、市長が提出議案の提案理由を述べました。

9月12日から15日までは、15人が市政一般質問を行いました。

16日と20日は、4つの常任委員会、付託された議案30件と請願1件を審査しました。

22日の本会議では、各常任委員会から審査結果の報告を受け、賛否が分かれた議案等について4人の議員から反対の討論がありました。

採決の結果、議案26件を全会一致で可決・承認したほか、

一般会計補正予算（第7号）

など議案4件を賛成多数で可決、請願1件を全会一致で採択とし、人事案件2件と議案の意見書1件に全会一致で同意、可決しました。

29日から10月4日までは、決算特別委員会を開催し、追加提出された令和3年度決算認定等議案33件を審査しました。

最終日となる4日の本会議では、決算特別委員会から審査結果の報告後、令和3年度決算認定等議案33件を全会一致で可決及び認定しました。

また、議案の市議会委員会条例の一部を改正する条例を全会一致で可決し、全日程を終了しました。

常任委員会の審査状況

総務財政常任委員会

問 庁内電話にスマートフォンを導入することで期待される効果は。

答 新たにスマートフォン200台を導入することにより、庁舎停電時の通信環境の確保等、災害時対応の強化が期待されるとともに、職員が出張等により不在時にも庁内電話を転送でき、市民サービスの向上と業務の効率化が図られる。

環境経済常任委員会

問 田んぼダムの取組みについて、実施ほ場を10.1ha拡大することのだが、田んぼダムの雨水貯留量は。

答 令和3年度までの設置面積は36.4haである。
田んぼダムに雨水を10cm貯留する場合、約3万6千t（25mプール約60杯分）を貯留できると想定している。

建設水道常任委員会

問 身近な道路や側溝等の生活環境を改善するための事業の当初予算分の進捗と、要望に対する優先順位のつけ方は。

答 舗装補修等の道路維持管理事業は約8割、水路側溝整備事業は約9割の予算を執行している。

また、要望については、緊急性や浸水被害等がある箇所を優先している。

文教福祉常任委員会

問 生後6か月〜5歳未満児のインフルエンザ予防接種費用の助成は、来年度も継続するのか。

答 季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行を低減するため、新型コロナウイルスワクチン接種を受けられない児童を助成対象としており、来年度以降は感染状況等により検討する。

賛否が分かれた議案等

賛成は「○」、反対は「×」と表記しています。

件名	議決結果	会派の賛否（志翔会は、議長を除く。）											
		志翔会	新政会	郡山市議会公明党	緑風会	立憲民主党郡山	自由民主党郡山市議団	日本共産党郡山市議団	虹とみどりの会	無所属の会	立憲民主党	国民民主党	
		8人	8人	4人	4人	3人	3人	2人	1人	1人	1人	1人	
補正予算	一般会計（第7号）	原案可決	○	○	○	○	×	※	×	×	○	×	○
条例制定	郡山市麓山地区駐車場条例	原案可決	○	○	○	○	×	※	×	×	○	×	○
条例改正	郡山市保育所条例	原案可決	○	○	○	○	○	※	×	×	○	×	○
	郡山市体育施設条例	原案可決	○	○	○	○	×	※	×	×	○	×	○

※賛成2、欠席1

会派の構成は10月4日現在のものです。

全会一致で可決した議案等

補正予算	一般会計（第8号）	
	特別会計	国民健康保険（第2号）、後期高齢者医療（第2号）、介護保険（第1号）、駐車場事業（第2号）、県中都市計画郡山駅西口市街地再開発事業（第1号）、総合地方卸売市場（第2号）、熱海温泉事業（第1号）、母子父子寡婦福祉資金貸付金（第1号）、財産区（多田野、河内、片平、月形、舟津、館、浜路、横沢、中野、後田）（第1号）
		水道事業会計（第1号）
		下水道事業会計（第2号）
条例改正	郡山市部設置条例	
	郡山市職員の育児休業等に関する条例	
	郡山市職員の給与に関する条例	
	郡山市手数料条例	
	議会議案	郡山市議会委員会条例
その他	専決処分承認を定めること	
	令和3年度一般会計歳入歳出決算認定等33件	
	郡山市教育委員会委員の任命	
	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めること	

補正予算の事業一例

○観光案内所リニューアル【3,200万円】

JR郡山駅構内の観光案内所のレイアウト等を変更し、物販スペースの新設や案内所内に観光協会が移転します。

○観光情報DX※化推進事業【2,800万円】

観光案内所内に空中モニターの設置や表示コンテンツの開発、DXツールを導入します。



※DX…デジタルトランスフォーメーション。ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。

採択した請願

次の請願を全会一致で採択しました。

- 「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書

可決した意見書

次の意見書を全会一致で可決しました。

- 国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書

賛否などの詳細は市議会ウェブサイトをご覧ください。



議案等に対する各議員の賛否



請願文書

令和4年9月定例会 市政一般質問

● 今回の質問者数 15名

● 掲載項目

行った質問のうち、質問者が選択した2項目を掲載しています。

● 記事の内容

掲載の質問や答弁は、要約しています。詳細は、議会中継や会議録を御覧ください。

● 録画中継

各記事のQRコードから、録画中継が御覧いただけます。

● 会議録

市ウェブサイトや次の施設で御覧いただけます。

- ・ 市政情報センター(市役所本庁舎1階)
- ・ 中央図書館
- ・ 希望ヶ丘図書館
- ・ 安積図書館
- ・ 富久山図書館

なお、令和4年9月定例会の会議録が御覧いただけるのは、11月下旬になります。



会議録



立憲民主党郡山

飯塚 裕一 議員



学校司書の勤務条件等について

問

令和5年4月から配置される学校司書は、現在のPTA雇用による勤務条件等を上回るなど、より充実した学校図書館の環境整備を図るべく予算措置や制度設計を進めることが重要と考えるが見解は。

答

PTA雇用による学校司書の業務内容や給与等が、各学校によって大きく異なっており、統一した勤務時間等の整備が必要と認識している。

現在、国の学校図書館ガイドライン等に基づき、学校図書館運営に必要な業務内容の精査とともに、少子化やデジタル化等の社会の変化に伴う新しい教育への対応、他市の状況等を総合的に勘案し、制度設計について検討している。

交通弱者等に対する支援について

問

総合交通政策課が都市構想部に移管される今回の組織改編を契機として、速やかにかつ切れ目ない支援制度を構築していくことが必要と考えるが見解は。

答

学識経験者や市民の代表、交通事業者等の各種団体で組織した郡山総合都市交通戦略協議会から意見をいただくとともに、現在策定中の(仮称)市地域公共交通計画の中で、市内関係部局と連携を図りながら、市まちづくり基本指針に掲げる「すべての人が安心して円滑に移動できるまち」の実現に向け、協議していく。



市内で行われている乗合タクシー



自由民主党郡山市議団

佐藤 栄作 議員



リサイクル研究開発拠点整備
及び関連企業等誘致について

問 太陽光パネルの大量廃棄問題の解決と、循環経済の確立及び経済活性化へと繋げるため、リサイクル研究開発拠点整備及び企業等の誘致を推進すべきと考えるが見解は。

答 市内においては、廃棄物からレアメタル等を回収して再資源化する企業や、廃棄物のリサイクルを専門とする企業が立地しており、太陽光パネルリサイクル事業への新規参入も期待される。

また、福島再生可能エネルギー研究所では、太陽光パネルガラスの有効資源化に取り組む企業を支援しており、本市も国等と連携し、企業間及び産学官の触媒役として企業の研究開発の支援及び関連企業等の誘致を推進していく。

タブレット端末の活用による負担軽減について

問 小中学生の教材の重量が増えカバンが重く、子どもの負担が大きいと相談を受けた。教科書のデータをタブレット端末に送る等すれば、教材を持ち帰ることなく、カバンも軽くなるかと考えるが見解は。

答 登下校時の持ち物は、過重にならないように配慮することが必要である。

現在、一人一台のタブレット端末が整備され、授業支援アプリ等を活用した家庭学習を進めている学校もある。

今後もタブレット端末を用いて、持ち帰る教材等の量を更に見直し、携行品の軽量化を図るよう指導していく。



タブレット端末



立憲民主党

吉田

公男 議員



旧豊田貯水池の貯留施設としての利用について

問 旧豊田貯水池の貯留能力を考慮し貯留施設として利用すべきと思うが見解は。

答 今後の活用については、雨水被害に対応するため、防災・減災・リスクマネジメントを重視し、透水性舗装や植栽を取り入れた水害を抑制するグリーンインフラの考えを基本とした中間取りまとめを令和2年3月に行った。

昨年度は、動植物生態調査等や市民意見交換会を5回開催し、今年度は、近隣住民や各種団体から意見を伺うほか、現地見学会を予定している。

今後も、活用について慎重に検討していく。



現在の旧豊田貯水池

市長と反社会的団体との関わりについて

問 旧統一教会関連団体及び暴力団などの反社会的団体と市長は関わりがあるか、どのような関わりか。

答 市長になって以来、公務として、議員が示す団体の会合等、行事に参加した事実はない。

また、個人としても、議員が示す団体について関わった事実もない。従って、記憶も認識もない。



新国会 福田 文子

あやこ 議員



ごみ集積所の管理について

問 管理が行き届かない集積所を行政がある程度把握して、重点的に監視、指導や地域との話し合いはできないのか。

答 集積所の維持管理や清掃等のルール作りなどについては、それぞれの集積所の管理者と利用する地域住民が主体的に取り組んでいる。

このような中、市のパトロールや回収事業者により、管理が行き届かない集積所が確認される場合や、町内会等から管理についての問い合わせを受けることがあるため、情報共有や助言に努めていく。



市内のごみ集積所

小中学校における生命（いのち）の安全教育について

問 令和5年度から公立小中学校等で推進することとなる、性犯罪・性暴力を防ぐための教育である「生命の安全教育」にどのように取り組むのか。

答 各学校では、情報モラル教室等の体験的学習や、中学校、義務教育学校では産婦人科医による学習を行っている。

今後、LINEみらい財団との協定のもと、今年度中にGIGAワークブックを作成し、情報端末を安全で効果的に使えるよう児童生徒一人ひとりに配布し、情報モラル教育の充実を図る予定である。

また、保健の授業を中心に、学級活動や道徳科等において、生命の安全教育教材を積極的に活用し、「生命の安全教育」を推進するよう支援していく。



無所属の会

やない 箭内

よしひこ 好彦 議員



通常学級の発達障がいを持つ児童生徒への指導・支援は

問 通常学級に在籍する発達障がい及びその疑いのある児童生徒のうち、通級指導教室に通っていない障がい特性を持つ児童生徒に関して、指導・支援が現実になされているのか見解は。

答 本市では、障がい特性に応じた適切な就学指導を学校が保護者と連携しながら行っているよう支援しており、障がいや発達段階に応じた、個別最適な学びに取り組める環境を整備している。

また、総合教育支援センターに専任指導主事を配置し、学校訪問等により、保護者や学校からの相談業務にあたり、今後も学校と家庭が連携を図りながら、指導・支援の体制整備に努めていく。

農福連携サポーター・ボランティア等の育成について

問 サポーター養成事業の実施やボランティアの育成を推進し、郡山モデルを構築すべきと考えるが見解は。

答 今年度の農福連携推進モデル発展事業は、作業指導やジョブコーチの育成等を行っており、委託先においては、シニアボランティア組織とも連携し、就労支援やボランティア育成等に取り組んでいる。

さらに、市ではアグリサポーター育成講座を開催して、今後の園芸振興センターの活用やキャリア・デザインズとの連携等、市独自の取組体制の構築に努めていく。



農福連携の作業風景



志翔会 佐藤 徹哉

議員



LINEによる行政サービスの向上について

問 福岡市の「問い合わせチャットボット※機能」のシナリオデータの提供を受けるなどとして、本市公式LINEの機能を充実させてはどうか。

答 本市公式LINEでも、ココナビこおりやまによる道路の危険箇所等の通報やセグメント配信※などの機能を有しており、チャットボットはLINEと本市ウェブサイトとをリンクさせ、利用できるようにしているが、提供いただく福岡市のシナリオデータを参考に、利用者の立場を最優先とした改善に努めていく。



市公式LINE

※チャットボット：人工知能を活用した自動会話プログラムのこと。
※セグメント配信：顧客を条件別に分類し、それぞれのニーズにマッチした情報を配信すること。

登録者数を増やすための取り組みについて

問 本市公式LINEの登録者数を増やすためにどのような取り組みをしてきたのか。今後どのように取り組んでいくのか。

答 本市では、広報こおりやまをはじめテレビ、新聞等の媒体を通し、様々な機会を捉え周知に努めている。広報紙では、セグメント配信、LINE版ココナビこおりやま等について特集記事で紹介してきたほか、毎月各種SNSの紹介を行ってきた。また、令和元年度からQRコードで登録できるカードを1万5千部作成し、市民課の窓口等市の施設で配布し周知に努めている。

今後も、機能を充実しながら周知に取り組んでいく。



新政会 良田 金次郎

議員



子ども食堂の取組み活性化について

問 運営団体により活動日数は様々だが、できるだけ多くの日数を活動し、子どもたちの居場所づくりに貢献すべきと考えるが見解は。

答 各運営団体の形態は様々であるが、いずれも本業の合間や事業の一つとして運営しており、運営資金や人手、場所の確保など多くの課題を抱えている。

食堂を利用できる機会を増やすとともに、市内全域で開催できるよう支援していくことが重要と考えていることから、既存の団体や新規に始めようとしている個人や団体に対し、相談や支援制度の情報提供等を通して活動のバックアップ体制を強化していく。

布引風の高原の渋滞について

問 ひまわりが満開となる8月から9月の週末には、車の渋滞が発生している。今後、駐車場の拡張や周回道路の拡幅など、渋滞の解消をはじめ、高原の魅力向上をどのように実現するのか。

答 これまで、駐車場台数の増加や警備員増員、ウェブサイトでの周知等を行ってきた。しかし、晴天時やイベント時の渋滞発生に加え、景観作物栽培の後継者不足、山頂までのアクセス道路等の課題があるため、地元財産区や商工会等と多角的な視点で協議を行い、魅力向上策を検討していく。



布引高原のひまわり畑



郡山市議会公明党

たがわ まさはる
田川 正治 議員



マイナポイントの付与に関する周知について

問 分かり易いポイント付与についても積極的に実施していくべきと考えるが見解は。

答 本市においては、個人番号カードの必要性和ともに、あらゆる媒体でポイント制度についても周知に努めてきた。

特にマイナポイントの申込み支援は、西庁舎1階に支援ブースを設置するとともに、4つの行政センターにもブースを常設しており、今後は設置のなかった行政センターにおいても、巡回方式での支援を予定している。

また、9月1日にビッグアイ6階に申請及びポイント支援の窓口を設置した。



西庁舎1階支援ブース

サニタリーボックスの設置について

問 本市庁舎及び各行政センターにおいて、男性用の個室トイレに使用済みの尿漏れパッドなどを廃棄するサニタリーボックスを設置していくべきと考えるが見解は。

答 男性が利用できるサニタリーボックスは、多目的トイレは38か所、男性用個室トイレは23か所に設置してある。日常生活において尿漏れパッドなどを必要とする方が、安心して外出できる環境の整備は、多様性を尊重する共生社会の実現に資するものであると認識しており、市役所庁舎及び行政センターの男性用個室トイレ全てに、順次設置を進め、年度内に完了するよう努めていく。



志翔会

ひさの
久野 三男 議員



映画館(シネマコンプレックス)の誘致について

問 市内や近隣の若者たちは、他市に映画鑑賞に行くと思う。約32万人の人口規模でシネコンがない都市は珍しいと思うが、市民の長年の希望であるシネコンの建設を事業者と一緒に実現してはどうか。

答 映画上映は、配給会社と映画館の運営会社との契約に基づいて行うものであり、採算性も含めた様々な要因を考慮して、事業者が進出を判断するものと考えている。

シネコンは、集客力も高く、街の賑わい創出や本市の魅力向上に寄与するものと認識していることから、今後も、事業者から相談等があった場合には、関係部局と連携しながら、情報提供等必要な支援に努めていく。

「ごみ指導員」の腕章などの配付について

問 ごみ集積所の管理にあたり、腕章等を着用できれば、その場で指導や注意をしやすいたの話をいただく。町内会の方が活動しやすいよう支援する必要があると考えるが見解は。

答 ごみ集積所を管理する方々が見回り等を行う際、腕章等で表記することで声を掛けやすくなる一方、一律に巡回指導を要請されているとの誤解を招くことや、指導権限が付与されたとの誤った認識により、かえってトラブルが生じることも懸念されるため、管理が行き届かない事例は、個別事案として対応する。



ごみの収集作業



日本共産党郡山市議団

たかはし よしはる
高橋 善治 議員



来年度の学校給食費補助について

問 給食費の半額助成と物価高騰分の上乗せ補助を行う予算が提案されているが、保護者負担が増えないような対策、給食費補助の継続を求めるが見解は。

答 新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況の中、家計収入の減少等、各家庭において様々な影響があることから、3学期における食材費の2分の1相当額と2学期と3学期分の食材費の増加分の予算を計上した。

来年度については、今後における国の財政支援等を踏まえ、関係部局と総合的に検討していく。



本市の学校給食

市民ニーズに合ったバス路線維持策について

問 路線バスの維持は利用者をどう増やしていくかである。事業者への補助等とともに、高齢者の無料化、遠距離通学高校生のバス代補助などの利用者支援で利用促進を図るべきではないか。

答 利用者支援として、乗合タクシーの導入や湖南地区から福島交通大槻営業所間のバス運賃上限を50円としたほか、75歳以上の方に、バス・タクシーにも利用できる利用券を交付している。

現在策定中の（仮称）市地域公共交通計画において、郡山総合都市交通戦略協議会からの意見をいただきながら、市民ニーズに即したバス路線の維持や利用者支援等について広く検討していく。



立憲民主党郡山市議団

やえがし さよこ
八重樫 小代子 議員



郡山市ゲリラ豪雨対策9年プランについて

問 異常気象、線状降水帯などの問題、PDCAサイクルによる進捗管理やゲリラ豪雨の状況、市民の要望等により、今後、計画の見直しが必要となっているものはないのか。

答 市では、国の「100mm/h安心プラン」に登録し、内水氾濫被害が多発している駅前周辺地区を含む5地区において各種対策事業を進め、麓山調整池、赤木及び図景貯留管が供用を開始しており、今年度は、小原田及び石塚貯留管が完成する予定である。

今後も、流域治水を踏まえた局地的大雨対策に取り組んでいく。



図景貯留管内部

建築物の耐震改修について

問 浜松市耐震補強工事補助のように、今後、市木造住宅耐震改修助成制度を拡充すべきと考えるが見解は。

答 助成制度の拡充については、地震災害への備えとして建築物の耐震化は重要な課題と認識していることから、広報紙やウェブサイトへの掲載、建築士协会会员へチラシの配布、出前講座での助成制度の案内等で制度利用の拡充に努めている。

今後も市民が地震に対する認識を持ち、より強固な建築物へと転換し、安全が確保できるよう、様々な情報発信媒体等を活用し、制度利用者の拡大や周知・啓発に取組み、更なる耐震化を促進していく。



虹とみどりの会

蛇石

郁子

議員



非核三原則の堅持に係る本市の見解について

問 本市として、非核三原則を堅持することについて見解は。

答 本市は、昭和59年6月に、核兵器完全廃絶と軍備縮小を全世界に訴え、人類の願いである世界平和の実現を希求することを目的に「郡山市核兵器廃絶都市宣言」を行うとともに、その具現化を図るため、平成8年から中学生を被爆地へ派遣する事業などを実施している。

今後も、都市宣言の趣旨に則り、核兵器廃絶と世界平和の実現に向けて、対応していく。

南川溪谷の左岸遊歩道に面する公園法面の整備について

問 里山再生事業において、南川溪谷の左岸遊歩道に面する五百淵公園法面の森林環境整備はどのように行う計画か。

答 五百淵公園は、森林の安全や光環境の改善などを目的として、間伐等による整備や伐採木をチップ化し、園路等に敷設することとしている。

南川に面する五百淵公園法面は、伐採により法面が崩れる可能性がある高木を除き、枯れ木や低木の除伐等を実施することにより、市民がより安全・安心に利用できる公園環境を整備していく。



五百淵公園の法面

本市の街路樹管理の基本方針について

問 地球温暖化現象が進む中、熱中症により亡くなられる方をなくすためにも、緑陰機能がある街路樹の必要性が増しており、市民に優しい街路樹づくりに取り組むべきと考えますが、本市の街路樹管理の基本方針は。

答 街路樹は道路法等で、都市部の幹線道路等に設けることとされ、道路は常時良好な状態に保つよう維持修繕し、交通に支障を及ぼさないよう努めることとされている。

このため、利用者の通行に支障のある高木は、伐採や更新を行うとともに、良好な道路環境を保全するため、適切な剪定、除草、病害虫の防除等を基本方針としている。



新政会

石川

義和

議員



地方たばこ税を活用した喫煙所の整備について

問 屋外分煙施設等の整備に地方たばこ税の活用に関する国の通知があることから積極的に活用し、市の公共施設等に喫煙所を整備しては。

答 市公共施設利用者の受動喫煙による健康被害防止等のため、市公共施設の敷地内禁煙を実施している。

望まない受動喫煙を生じさせないことが、マナーからルールに変化している状況等の中、公共施設に喫煙所を整備することは、有害物質を含んだ空気の流出で受動喫煙を生じさせ、健康被害防止が難しいことから、適切ではないと認識している。



東京都内の喫煙所



緑風会 名木 敬一 議員



国道288号バイパスの渋滞緩和対策について

問 富久山町福原地内の国道288号バイパスと市道戸屋竹ノ内線との丁字路交差点の改良を先行して進めることが渋滞緩和に繋がると思うが見解は。

答 国道288号富久山バイパスの4車線化工事は、県により事業化されていることから早期完成について要望している。

富久山クリーンセンター付近の交差点から西側約1kmの未整備区間においては、現在、慢性的な渋滞が発生しているため、強く4車線化を要望しているが、相当の期間を要することから、暫定的な右折レーンの設置等も含め、県に積極的に働きかけていく。



渋滞する交差点部

障がい者に対するスポーツ支援について

問 障がい者に対して、まずは短期の水泳教室等の支援をするなど、手を差し伸べる必要があると思うが見解は。

答 本市においては、生涯スポーツ社会の実現のため、郡山シティーマラソン大会への車いす部門の設置、障がい者スポーツ大会の開催など、障がい者スポーツの推進に努めている。

水泳教室等の支援については、技術的指導に加え、障がい者の程度に応じた配慮が必要であり、東京2020パラリンピックのレガシー継承として、障がい者スポーツ普及・啓発事業において、保健福祉部等と連携し、安心して参加できるスポーツ教室の開催について検討していく。



郡山市議会公明党 小島 寛子 議員



母子健康手帳の交付場所について

問 母子健康手帳を100%子育て世代包括支援センターで交付できるよう取り組んで欲しいが見解は。

答 令和3年度に子育て世代包括支援センター4か所で交付した母子健康手帳の割合は、83.3%となっている。

子育て世代包括支援センターでの交付は、助産師等から妊娠・出産に関する情報を得られ、妊婦自身の不安を専門職に相談できるなど、寄り添った支援を受けられるメリットがあるため、交付が100%可能となるよう体制整備を図るとともに、電子母子手帳の利用登録も勧奨していく。



母子健康手帳

未就園児等の保育所入所について

問 未就園児（保育所や幼稚園に通っていない0〜5歳児）等を含む保育所利用の要件緩和について取り組む考えはあるか。

答 本市では、2021年度及び2022年度当初は、国基準の待機児童ゼロを達成したものの、9月1日現在22名の待機児童があり、要件緩和により入所できる児童とできない児童が生じることになる。そのため、9月13日に株式会社サイバーエージェントと保育利用調整の実証実験に関する連携協定を締結し、より効果的なマッチング処理の構築を目指しており、この実証実験を踏まえて保育所利用対象者の要件について柔軟に見直しを進めていく。



令和3年度決算特別委員会

令和3年度一般会計歳入歳出決算認定議案等 33 件を原案のとおり可決及び認定

令和3年度一般会計決算概要

歳入 1,623億 534万円
 歳出 1,537億7,895万円
 詳細は、市ウェブサイト
 を御覧ください。



決算



決算特別委員会は令和4年9月29日から10月4日まで開催され、令和3年度決算についての書類審査及び現地調査を実施しました。

委員会では、予算が適正かつ効果的に執行されたか、健全な財政運営がなされているかなどを審査しました。

審査の結果、決算認定等議案33件については、原案のとおり可決及び認定すべきものと決しました。

■質疑応答

問 民間事業者と連携し、水道事業におけるスマートメーターの実証実験を行ったが、結果についての評価は。

答 通信品質については、無線端末と電力メーター間の遮蔽物が原因で通信が不安定な場所があったが概ね問題なかった。

漏水の早期発見については、漏水1件を検知した。

実証実験を踏まえ、引き続き調査研究を進めていく。

問 「2020年東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進首長連合」の負担金について、収支報告書の提出を求めないのか。

答 首長連合はインバウンド対策やセミナーの開催等を行っているため、大会の終了を受けて、2025年の国際博覧会に向けた組織に移行した。

令和3年度収支決算書は、送付されていなかったため、事務局へ送付を要請した。

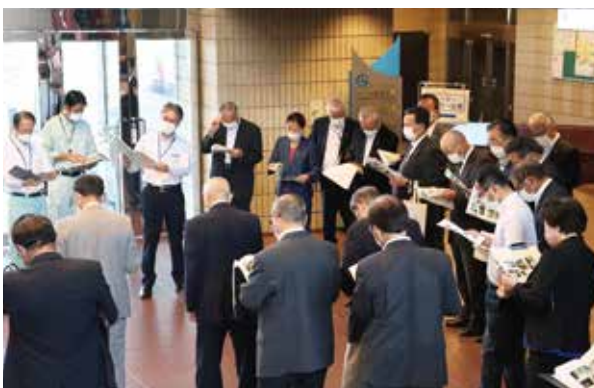
■現地調査

9月30日と10月3日は、現地調査を行い、施設の概要や事業内容等の説明を受けました。

◇対象事業

- ・ けんしん郡山文化センター
- ― 災害復旧事業
- ・ 郡山市中央図書館災害復旧事業

- ・ 安積第3分団第2班（旧牛庭班）消防車庫詰所建替え
- ・ 郡山ユラックス熱海長寿命化事業



けんしん郡山文化センター



市議会ウェブサイトを見てみませんか

郡山市議会のウェブサイトでは、定例会日程など様々な情報を発信しております。
 今回は掲載情報のうち、「会議録検索システム」と「こおりやま市議会だよりバックナンバー」を御紹介します。

会議録検索システム

キーワード、発言議員や会議の種類など、知りたい内容を検索することができます。

こおりやま市議会だよりバックナンバー

第140号(平成19年3月定例会号)から掲載しています。

請願・陳情の方法

～ 市議会へ、いつでも、どなたでも要望を伝えることができます ～

	請 願	陳 情
受 付	市政一般質問初日の午後5時まで ※定例会中に審議を希望する場合	開会日翌日の午後5時まで ※定例会中に議員への配付を希望する場合
取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ●関係する委員会で審査の上、本会議で審議し、採択・不採択を決定します。 ●採択した請願のうち、市の事務に関するものは市長等へ送付し、処理の経過や結果の報告を求めます。国・県等の事務に関するものは意見書を提出します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●陳情書の写しを各議員に配付します。

請願書

年 月 日

郡山市議会議長様
 (請願者住所)
 (請願者氏名) ※
 (紹介議員)

〇〇〇について
 請願趣旨
 請願事項

紹介議員が
必要

紹介議員は
不要

陳情書

年 月 日

郡山市議会議長様
 (陳情者住所)
 (陳情者氏名) ※

〇〇〇について
 陳情趣旨
 陳情事項

※氏名は、署名又は記名押印が必要です。

郡山市産米の消費拡大に向けた特別委員会

郡山市産米の消費拡大について意見を聞きました

■開催日

- 第9回 7月5日
- 第10回 7月25日
- 第11回 8月10日
- 第12回 8月25日

■審議項目

- ・ 参考人からの意見聴取について
- ・ 米の日等について
- ・ 消費拡大を目指す条例案について
- ・ 提言内容について



郡山市産の最高級ブランド米
ASAKAMA I887

■参考人からの意見聴取

7月5日開催の委員会では、今後の審議の参考とするため、市内の3団体を参考人として招致し、郡山市産米の現状や消費拡大について意見をいただき、種々質疑を交わしました。

◇参考人

- ・ 福島さくら農業協同組合
- ・ 全国米穀販売事業共済協同組合
- ・ 郡山美味しい街づくり推進協議会



土鍋を使った美味しいお米の炊き方を紹介いただきました。

■当局からの意見聴取

8月25日開催の委員会では、局からの意見聴取を実施し、種々質疑を交わしました。

◇聴取した事項

- ・ 条例案に対する意見について
- ・ こおりやま「お米の日」に関する取組みやイベント等の実施について

市議会パブリックコメントを実施しています

特別委員会で協議した条例案に対する意見を広く募集します。

◇公表するもの

郡山市産米の消費拡大の推進に関する条例（案）

◇意見募集期間

令和4年10月7日（金）から11月7日（月）まで（32日間）

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。



トピックス

◆ こおりやま市議会だよりを一部リニューアルしました

令和3年度に実施した市議会モニターのアンケート結果等を踏まえ、表紙に見出しを掲載するなど、紙面を一部刷新しました。今後もわかりやすく読みやすい紙面づくりに努めてまいります。

◆ 令和3年度政務活動費を市議会ウェブサイトで公開しています

政務活動費の透明性を確保するため、関係書類を公開しています。また、市政情報センターや議会事務局でも閲覧することができます。



令和3年度
政務活動費

12月定例会開催予定

日	月	火	水	木	金	土	
			11/30 本会議一開会	12/1 議案調査(休会) ※陳情締切	2	3 休会	
4 休会	5 事務整理日 (休会)	6 ※請願締切	7 本会議(市政一般質問)			9	10 休会
11 休会	12 常任委員会	13	14 事務整理日 (休会)	15 本会議一閉会			

- ・正式な日程は、定例会初日に決定するため、変更になる場合があります。
- ・本会議の様子を市議会ウェブページから生中継いたします。
- ・生中継は、各行政センター、緑ヶ丘ふれあいセンター、ビッグアイ6階の市民プラザ(月曜日を除く。)でも御覧いただけます。
- ・録画中継は、生中継の4日後(土・日曜日及び祝日を除く。)から公開します。



市議会中継



議会を傍聴してみませんか



本会議や委員会の様子は、どなたでも御覧いただけます。本会議、常任委員会の会議開始は通常午前10時です。



	本会議	常任委員会
受付場所	西庁舎7階 傍聴受付	西庁舎6階 議会事務局
受付時間	開始30分前から	開始40分前～20分前

議員は各定例会で市政に対して質問することができます。一般質問の質問時間は答弁を含め60分です。

—— 質問方式 ——

一括質問

全ての項目を最初に一括して質問し、その後、質問項目ごとに答弁を受け、再質問をします。

2種類から議員が選択します。

一問一答

1つの項目の質問、答弁が終わった後に次の項目に入ります。

—— 開始予定時刻 ——

1人目	10:00～11:00
休 憩	
2人目	11:15～12:15
昼 休 憩	
3人目	13:15～14:15
休 憩	
4人目	14:30～15:30

議会報告会・意見交換会



■開催日時

令和4年11月12日(土) 14:00~15:30

■会場

郡山市総合福祉センター5階 集会室
(郡山市朝日一丁目29-9)

■定員

30名程度

■申込締切

令和4年11月10日(木)

■その他

- ・市内在住者が優先となります。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、中止となる場合があります。

開催内容

議会報告会・意見交換会に参加しませんか

<議会報告会>

定例会の概要や各常任委員会、決算特別委員会など、議会の状況について報告します。

<意見交換会>

「ゴミの減量」をテーマに、参加者と議員が少人数のグループに分かれて意見交換を行います。

議会報告会・意見交換会 参加申込書

QRコードからも
申込できます



【申込先】郡山市議会事務局 TEL:024-924-2521 FAX:024-938-2810
メール:soumugiji@city.koriyama.lg.jp

住所	〒	年代	<input type="checkbox"/> ~20代
氏名			<input type="checkbox"/> 30代
電話番号			<input type="checkbox"/> 40代
			<input type="checkbox"/> 50代
			<input type="checkbox"/> 60代
			<input type="checkbox"/> 70代
			<input type="checkbox"/> 80代~
メールアドレス		性別	任意記載 男・女

・御記入いただいた個人情報は、議会報告会・意見交換会の開催及び新型コロナウイルス感染症拡大防止以外の目的には一切利用しません。

編集後記

今回の表紙は、麓山公園にある「安積疏水麓山の飛瀑」です。この滝は明治15年(1882年)に安積疏水の通水を記念して開成社等の有志により造られました。皆さんは、明治初期の郡山は荒れ果てた原野だった事をご存じでしょうか?安積疏水事業は明治12年から延べ85万人の人の手により、わずか3年間で130kmの工事が完了しました。荒れ地を美しい水田に変え、水力発電を利用した工業、商業の発展等、郡山市を経済都市へと発展させる重要な事業の最終地点が、ここ麓山公園にあります。市民の皆さん、ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。(渡部)

市議会だよりに対する御意見、御感想は議会事務局総務課まで
TEL024-924-2521 メールアドレス soumugiji@city.koriyama.lg.jp
印刷/株式会社やまと印刷

紙へリサイクル可



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。